

# 健康生きがい学会 第9回大会開催要項

超高齢社会を迎えたわが国で「長寿を喜びあえる社会」となるように各分野の専門家が集まり、生きがいのある人生を送るために「健康生きがい」について考える大会です。「健康生きがいを支える福祉機器・ICT・ロボットの役割」をテーマに健康生きがいについて考えてみませんか。皆様の参加をお待ちしています。(実行委員長 松山博光)

日 程	平成30年11月11日(日)9:00~18:00
場 所	大妻女子大学千代田キャンパス本館E棟地下1階E055教室及び3階(東京都千代田区三番町12番地)
参 加 費	会員500円、一般500円、院生・学生無料、当日入会の会員無料
内 容	大会テーマ 「健康生きがいを支える福祉機器・ICT・ロボットの役割～人生100年時代を迎えての高齢者の生き方～」
9:00~	受付
9:30~9:35	実行委員長挨拶 松山 博光 (大妻女子大学人間関係学部教授)
9:35~9:45	会 長 挨拶 京極 高宣 (国立社会保障・人口問題研究所名誉所長、社会福祉法人浴風会理事長)
9:45~9:50	オリエンテーション 宮島 敏(健康生きがい学会常務理事)
9:50~10:30	基 調 講 演 「人生100年時代を迎えての高齢者の生き方(仮)」辻 哲夫 (健康生きがい学会理事長、東京大学高齢総合研究機構特任教授)
10:35~11:35	特別記念講演「高齢者の生きがいと健康長寿との因果構造」 星 旦二 (首都大学東京名誉教授)
11:35~12:45	= 昼食・移動 =
12:45~14:45	分科会 (第1部) (第1分科会) 在宅医療の推進と健康生きがい…在宅医療の展開を通じた健康生きがいの獲得を軸に 座 長: 新田 國夫 (医療法人社団つくし会理事長、全国在宅療養支援診療所連絡会会長、日本臨床倫理学会理事長) パネリスト: ①杉田 美佐子 (社会福祉法人小茂根の郷 東京武蔵野ホーム施設長) ②西田 伸一 (医療法人集社西田医院院長、東京都医師会理事) ③米倉 直美 (聖隷訪問看護ステーション藤沢所長) (第2分科会) 福祉機器・ICT・ロボットの活用と生きがい…人生100年時代における向き合い方として 座長兼パネリスト: 和田 一義 (首都大学東京システムデザイン研究科准教授) パネリスト: ①田久保 秀樹 (社会福祉法人横浜市福祉サービス協会特別養護老人ホーム新鶴見ホーム課長補佐) ②山内 閑子 (フランスベッド(株)営業企画本部メディカル商品企画課主任) (第3分科会) 地域共生社会と生きがい…コミュニティカフェ(地域交流拠点)の観点から 座長兼パネリスト: 米田 佐知子 (子どもの未来サポートオフィス代表) パネリスト: ①菅原 健介 (小規模多機能ホームぐるんとびー駒寄 株式会社ぐるんとびー代表取締役) ②長谷川 幹夫 (NPO法人みぬまで暮らし会理事) 他1名 (第4分科会) 健康生きがい活動(自由発表) 座 長: 白井 幸久 (群馬医療福祉大学短期大学部教授) 発 表 者: ①小田 英夫 (一般財団法人日本老人福祉財団伊豆高原ゆうゆうの里生活サービス課) 他4名
14:55~16:55	分科会 (第2部) (第5分科会) 障害者の就労と暮らしを支える生きがい支援…暮らしそのものを支えるという視点から 座長兼パネリスト: 南山 達郎 (認定NPO法人ばれっと事務局長) パネリスト: ①池川 充洋 (株式会社ケアコム ヘルスケアソリューション代表取締役) ②笹川 美由紀 (社会福祉法人老後を考える会理事 深沢共愛ホーム施設長) (第6分科会) 子ども・若者の生きがい支援…子ども食堂の動向を軸にした生きがい支援のあり方 座 長: 阿部 彩 (首都大学東京人文科学研究科教授) パネリスト: ①浦田 愛 (社会福祉法人文京区社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター) ②栗林 知絵子 (NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長) ③森下 利江 (ささはたっこ代表) (第7分科会) フレイル予防…健康生きがいに満ちた暮らしにおける虚弱予防を中心に 座 長: 神谷 哲朗 (東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員) パネリスト: ①高山 史年 (医療法人社団明法会理事長) 他2名
16:55~17:10	= 移動・休憩 =
17:10~17:25	全体会 理事会報告
17:25~17:35	表彰 講評・学会賞表彰
17:35	閉会
~18:00	撤収